

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	司法研究科
大項目	9 成績評価・修了認定
中項目	
小項目	9.0.1 厳格な成績評価基準の設定・開示
要素	厳格な成績評価基準が適切に設定され、事前に学生に開示されていること。
小項目	9.0.2 成績評価の厳格な実施
要素	成績評価が、成績評価基準に従い厳格に実施されていること。
小項目	9.0.3 成績評価に対する異議申立手続
要素	成績評価に対する学生からの異議申立手続が規定されており、適切に実施されていること。
小項目	9.0.4 修了認定基準等の設定・開示
要素	修了認定基準、修了認定の体制・手続が適切に設定されていること、及び修了認定基準が適切に開示されていること。
小項目	9.0.5 修了認定等の適切な実施
要素	修了認定が、修了認定基準及び所定の手続に従って適切に実施されていること。
小項目	9.0.6 修了認定に対する異議申立手続
要素	修了認定に対する学生からの異議申立手続が規定されており適切に実施されていること。

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 平均がGPA 2.5を超える科目をなくす。	→GPA 2.5を超える科目数ならびに科目数の割合。	D	C	C	B	/
2. 法律基本科目ならびに実務基礎科目のすべての必修科目と選択必修科目について、中間試験と定期試験の講評会実施を制度化する。	→中間試験と定期試験の講評会未実施科目数。	B	B	B	B	/
3. 全科目における採点基準の整備。	→採点基準を明示した科目数	C	C	B	B	/
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	厳格な成績評価については毎学期教授会にて議論しており、2012年度は法律基本科目、実務基礎科目において履修者数が10名以上でGPA 2.5を超える科目が、42科目中3科目、基礎法学・隣接科目では7科目中2科目、展開・先端科目では22科目中3科目であった。なお、2011年度は法律基本科目・実務基礎科目が38科目中4科目、基礎法学・隣接科目が8科目中4科目、展開・先端科目が24科目中11科目であった。
目標2	法律基本科目および実務基礎科目のすべての必修科目と選択必修科目については、定期試験終了後の講評会を実施しているが、中間試験については実施していないものもあり制度化には至っていない。
目標3	シラバスの「成績評価方法・基準」欄において平常点と最終試験の評価の割合を明記している。また中間試験および定期試験終了後の講評会を実施する科目については試験問題の具体的な採点基準を明らかにしている。
備考	